



服部邸

■建物概要

所在地：上京区大宮通寺之内上る西入東千本町

構造規模：ツシニ階織屋建て 延べ面積：約220㎡

建築年次：大正期

用途：（改修前）住居、作業場→（改修後）住居、織工房

改修工事の概要（助成対象工事）：

- ・外壁、外部建具、格子、通り庇、塀の改修



改修前



改修後

◆活用の概要

寺之内通の一筋北側、鉾参通に面して建つツシニ階織屋建ての町家です。西陣の地にあり、紋彫職人が3代に渡り職住一体の町家として使われてきました。しばらく空き家となっていました。服部さんが後を引き継ぎ、外観を通り景観に寄与するよう復元改修されました。今後は若手職人の作業場とするとともに、織染の体験・交流の場とし文化を継承できるよう考えておられます。

服部さんからのコメント

長らく空き家となっており、傷みも多かったこの町家ですが、今回の改修で外観が綺麗に刷新されることで、地域の方々にも喜んでいただけました。今後も、家業の織物製造とともにこの町家も次世代へ残し続けていけるよう、活用に取り組んでいきたいと思っています。